

## 植物多様性センターの「シラカシ」

伊豆諸島ゾーン極相林エリアの林床にシラカシの実生がたくさん生えています。シラカシは関東平野における代表的な常緑高木のひとつです。生け垣や屋敷林、公園樹としてもよく植栽されており、とても身近な樹木です。名前は木材としての白さから付けられ、樹皮や葉は濃い色をしています。ブナ科常緑樹の中では寒さに強くて繁殖力旺盛なので、園内のあちこちで芽吹いているのを目にします。



20m程度の高さまで成長する。



冬芽

光沢のある革質の葉。鋸歯はまばらで低い。



薄暗い林床を覆うように育っているシラカシの実生。



毎年たくさん実るシラカシのドングリ。殻斗は縞々模様。